

# しまだ 議会だより

No.38

2月定例会

2013(平成25)年5月15日発行

発行 島田市議会

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ 0547 36-7204

FAX 0547 37-2212



目次

- P 2 一般質問  
(代表質問・個人質問)
- P 12 議案質疑
- P 14 常任委員会の報告
- P 17 討論
- P 18 採決結果一覧
- P 19 特別委員会の最終報告
- P 20 定例会の概要&議決結果一覧
- P 22 議会報告会のお知らせほか

## やまめ平

大自然の中 溪流風つり池で  
溪流の女王やまめ釣りを満喫



# 一般質問

7会派の代表並びに11人の議員が市政を問う

## 代表質問

P 3 平松吉祝議員（新生しまだ）

「新たな時代への布石」とは  
「歯の健康推進条例」の制定を

P 3 坂下修議員（維新塾）

不安を抱かせる事業をただす！

P 4 星野哲也議員（清流会）

大井川流域の地域づくりは  
日本赤十字社の献血事業

P 4 清水唯史議員（創造島田）

平成25年度施政方針を問う

P 5 原木忍議員（明政会）

金谷庁舎跡地はどうか  
旧金中跡地の利活用の検討は

P 5 富澤保宏議員（公明党島田市議団）

子育て支援のさらなる充実を  
体罰・いじめ問題の根絶の施策は

P 6 松本敏議員（日本共産党島田市議団）

消防救急広域化で市民を守れるのか  
病院のまちなか移転計画は白紙に

## 個人質問

P 6 曾根嘉明議員

新たな食育推進に向けて  
農業振興地域からの除外の見直しは

P 7 藤本善男議員

交通弱者の早急な将来予測を  
親子が休める環境づくりを急げ

P 7 杉村要星議員

金谷地区の地域振興をどうするか

P 8 村田千鶴子議員

市民によるまちなか交流促進  
民生児童委員の活動しやすい環境を

P 8 大石節雄議員

フォトロゲイニングで地域のPR  
中学の部活動に地域指導者の活用を

P 9 佐野義晴議員

新病院建設の進め方に課題はないか

P 9 桜井洋子議員

30人以下学級で行き届いた教育を  
子ども医療費の支払いは窓口でこそ

P 10 河原崎聖議員

財政運営に公共施設白書を活かそう

P 10 八木伸雄議員

なぜ、病院経営が悪化したか。  
お茶の風評被害の賠償状況は

P 11 福田正男議員

市長の12年間の市政運営の評価は!!  
インフラの老朽化対策は大丈夫!!

P 11 仲田裕子議員

茶産業支援と農地政策

質問は、一定時間内に1件ずつ行う「一問一答」方式と、複数の質問を一括して行う「包括」方式（質問回数は3回まで）があり、質問する議員が選択します。

代表質問

「新たな時代への布石」とは



新生しまだ  
ひらまつよしのり  
平松吉祝議員  
(一問一答)

今後の桜井市政の方向性を問う。

交通基盤の整備および土地利用の取り組みをどのように進めるか。

国道1号島田金谷ハイパス4車線化は期成同盟会を新たに組織した。

緊急性や費用対効果を勘案し、優先度の高いものから順次整備していく。

地域内外の交流促進についての取り組みは。

川根温泉宿泊施設を生かした観光促進を図り、中山間地域の振興や国際交流の促進に取り組む。

新病院の建設と大学誘致の取り組みはどうか。新病院建設地検討委員会を平成24年10月以降

児童・生徒にはブラッシング指導や希望者を対象にフッ素塗布を実施している。市民にはブラッシング指導や歯、歯周疾患予防についての啓発活動をしている。

フッ素塗布、フッ素洗口の現状と課題は。

平成25年度には全ての保育園、幼稚園でフッ素塗布を行う予定である。今後は学校でのフッ素塗布を実施していく。

「歯の健康推進条例」を制定し施策の推進を図るべきではないか。

保護者や市民の理解を得る中で制定を考えていきたい。



不安を抱かせる事業をただす！

維新塾  
さかした おさむ  
坂下 修 議員  
(一問一答)

理由は。

債務負担行為で全体の予算額を提示して、予算の審議をお願いし、入札を執行した。

新病院建設地検討委員会での位置付けを伺う。

新病院の建設地の選定に当たり、まちなか集積医療基本構想を踏まえた新病院建設場所について第三者的な立場から専門知見に基づく意見を聴取するために設置した。

静岡地域消防救急広域化事業について、協議の凍結という説明がなされたが、その経緯と理由を伺う。

経費の負担、職員配置について関係市町の合意を得ることができないため、協議が難航中である。

今後の見通し、可能性は。



効果が期待されるフッ素塗布の様子



宿泊施設との連携ができるのか？川根温泉施設



# 大井川流域の地域づくりは



星野哲也 議員  
（一問一答）

## 清流会

**問** 川根本町との経済および広域行政の現状は。

**答** 川根本町とは、消防・衛生および観光での分野で連携している。

**問** 来年7月にオープン予定の川根温泉宿泊施設の集客率を上げるために

**答** 笹間渡駅にS.Lを停車させることは可能か。

**問** 現状では、地形上困難であるが、集客のために非常に大きな側面を持っていると考えている。

**問** 金谷往還下から初倉までの県道住吉金谷線の整備計画は、

**答** JR東海道本線踏切から鎌塚地区においては、地滑り地帯で大変困難な工事となるが、県に対して

**問** 拡幅改良の要望を行う。

**答** 大井川に架かる「はばたき橋」が8月

には念願の開通の運びになるが、次なる「大井川新橋」の要望は出しているか。

**答** 県によれば、県全体の優先度や財政状況の理由で、いまだ計画の具体化に至っていない。

**日本赤十字社の献血事業**

**問** 献血者が減少している。今年度については、1月末の献血者は2063人で、昨年に比べ45人増加している。

**問** 採血に伴う副作用が生じることはあるか。

初倉（鎌塚）から金谷へ抜ける整備予定の道路

**問** 採血時に伴う軽度の医療事故があると聞か、神経損傷の報告は受けていない。採血時に健康被害が生じ、医療機関に受診した場合、献血者健康被害救済制度が適用され、医療費・医療手当が支給される。

**要望** 献血は若い世代に「面倒くさい・痛い・怖い」と思われがちであるが、採血後は検査通知表で健康診断もできる。さらなる推進を願う。

**問** 島田金谷インター周辺の土地利用の方向性は、平成28年度の農業振興計画の定期変更時期を目標に、農業振興地域から除外し、幅広く利用できる工業系用途地域指定を検討する。併せて、農業的視点から「6次産業」の誘導の可能性を含め、関係各課からなるプロジェクトチームを作り検討していく。

**問** 県が進める「内陸フロンティアを拓く取り組み」との連携をいかにするか。



利活用が期待される島田金谷インター周辺

## 平成25年度 施政方針を問う

創造島田  
清水唯史 議員  
（一問一答）



**問** 地産地消エネルギーの導入や川根温泉宿泊施設建設事業などの取り組みを盛り込み、県と全市町と連携していく。

**問** 大井川を縦軸とした観光交流施策をいかに考えるか。

**問** 川根本町と連携し流域内滞在、回遊型観光商品の造成を進め、観光客誘致による地域活性化など相乗効果を期待する。

**問** 世界お茶まつり、国際陶芸フェスティバルなどの国際イベントへの取り組みはいかに考えるか。

**答** 魅力あるイベント情報を海外友好都市提携先や富士山静岡空港の海外渡航先に積極的に発信し、観光客誘致により交流人口増加を図りたい。

**問** 新病院の建設地決定における必要要件をいかに考えるか。

**答** 利便性、防災面において、市民の多くが距離的、時間的に集まりやすい場所であるとともに、広い土地が必要である。

**要望** 将来的には、志太榛原の各市が、広域的に医療連携を進め、各自治体の医療負担の軽減の必要性を検討するように求めた。

金谷庁舎跡地はどうなるか



明政会  
原 しのぶ  
忍議員  
(一問一答)

問 金谷庁舎跡地検討委員会が跡地利用の提言をしてから2年が経過した。施設の方角性は決まっているのか。

答 まだ決定されていない。今後、交通結末点として、この地域は整備が進んでいくので、住民福祉の増進を目的とするようなものを考えている。

問 この2年間、取りかかれなかった理由は何か。



解体が決まっている金谷庁舎とコミバス

答 いろいろな複合的な交流施設ということで、この地区で本当に

問 大変有利な地方債と  
思っている。交付税のうち、その分が幾らになるかという内訳はないので、実際、交付金としてその分がどのくらい交付されているかは分からない。

問 川根温泉宿泊施設建設事業の説明で、10年間の収支計画を提出しなかった理由は何か。

答 説明不足と感じている。3年目以降の収支計画は、2年目と同じ内容であったため省略した。

旧金中跡地の  
利活用の検討は

問 多目的施設に固執しないで、多目的施設以外の利活用について検討をする考えはないか。

答 交流人口の拡大など、メッセは最も有効だと考えている。防災拠点機能などを備えたメッセ、そうした検討の余地は十分にある。

問 公共交通の空白地帯をどうするか。

答 空白地域を含めてデマンド方式を検討する必要があると思っている。

子育て支援の  
さらなる充実を

公明党島田市議団  
とみざわやすひろ  
富澤保宏 議員  
(一問一答)



問 OECD(経済協力開発機構)の諸国の中でもとりわけ日本は乳幼児の子育て・保育に対する公費投入が極めて少ない。出産育児一時金に加え、島田市独自の支援策で、支給額を50万円まで引き上げるべきだ。

答 出産した方全員に8万円上乗せすることは厳しいと思うが、2人目、3人目から出せるか検討の余地がある。世界的に見ても国の子育て施策はまだまだ足りないと思うので今後の課題として検討したいと考えている。



認定子ども園になる初倉みどり幼稚園

問 保育園の待機児童と希望する入園者の実態はどうか。

答 平成25年1月1日の待機児童は12人であるが、25年4月の希望者で入園、入所の決まっていない

児童は、100人以上いる。その中には、入園条件を満たしていない方が多くいる。

問 国では、24年8月に子ども・子育て関連三法ができ、認定子ども園の拡大・充実を求めている。初倉みどり子ども園が計画されているが、全市的計画を望みたい。

答 新制度実施に伴い、子ども・子育て支援事業計画の中で幼児期の教育・保育の需要量等を見込み、計画を立てていく。

体罰・いじめ問題  
の根絶の施策は

問 学校での体罰の実態と防止対策の取り組みはどうしているか。

答 小学校で1件、中学校で2件あり、いずれの件も、子供と教員の間には改善しており、保護者の理解も得られている。いじめは、前期報告で小学校で26件、中学校で17件あり、今後も徹底した指導研修に取り組む。



だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

# 消防救急広域化で

## 市民を守れるのか



日本共産党島田市議員

まつもと 敏 議員  
(一問一答)

消防・救急の広域化計画が、静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町との運営協議会で協議が行われている。

問 県内で、消防広域化が進んでいないようだが、状況はどうか。

答 県下では藤枝消防と焼津消防が、また下田消防と西伊豆消防が広域化を始めるが、そのほかの地域は消防救急広域化のスケールメリットが見出せないなどの理由から、広域化は進んでいない。

問 静岡市との広域化では、藤枝市、焼津市が間にあるが、初動の消防力増援体制、現場到着時間などは向上が見込めるのか。

答 広域化で消防体制が向上するよう、継続協議

消防の最高責任者は静岡市長となる。  
病院のまちなか移転計画は白紙に

当市では現在、新病院

建設地検討委員会に、建設場所の協議を委ねている。

問 将来を見据えた時、狭い敷地でなく、日進月歩の医療、大規模災害でのトリアージ等に敷地拡張の余地が必要だ。

答 建設地については、建設諸条件を勘案し、必要な面積を確保したい。

問 まちなか移転計画を白紙撤回し、財政規模を

含めた計画を市民に公開し、説明会などで意見を聞くべきではないか。

答 検討委員会には、まちなかへの移転を前提として、候補地2カ所を検討してもらっている。



土地所有企業により解体された旧ジャスコ建物

# 個人質問

## 新たな食育推進に向けて



そね よしお 議員  
(一問一答)

問 現在の食育推進計画の中での問題点と、策定に当たり新たに取り入れる項目は何か。

答 糖尿病予防軍が、県下ワースト1という当市の現状から、現計画は生活習慣病予防に対する施策が若干不足している。次期計画において、生活

習慣病予防および改善につながる食育の推進を重点施策として、新たに取り入れたい。

問 糖尿病予防軍が、県下でワースト1だが、改善に向けての対策は。

答 生活習慣病予防対策として、健康教育や講座を行っているが、さらに



活用が期待される朝市マップ

それを強化するために、市民に食生活相談や適切なカロリー摂取、バランスの取れた食事についての情報提供や指導を行うことも考えている。

問 地産地消の推進として、朝市マップの活用をどのように考えるか。

答 朝市マップは、手作りのマップである。農業祭等で配布をしたり、スポーツ施設や文化施設、観光の側面も含めて宿泊施設等に設置して、多くの皆様に見ていただくよう考えている。

## 農業振興地域からの除外の見直しは

問 島田金谷インター周辺の土地については、農業投資がされて、農地転用は難しいと思うが、実現に向けて、どう攻めるか。

答 非常に現実的には厳しいが、農振除外については、誠心誠意進めていく。具体的には、現状の土地利用の状況を調べ、農振除外されやすい土地を見出すということで、そうしたエリアを選定していきたい。

# 交通弱者の早急な将来予測を



ふじもとよしお  
**藤本善男議員**  
(一問一答)

**問** 新たな施設整備による中心市街地への自家用自動車流入を、市はどう受け止めているか。

**答** 医療施設や福祉施設などの集積に伴い、自家用自動車の流入量は将来増加すると考えている。

**問** 「おびりあ」へのテナント出店で駐車場不足が懸念される。市の対応は。

**答** 駅近くの場所に図書館、こども館、学習センター利用者が使える75台分の無料駐車場整備を進める。



駅近くの無料駐車場予定地

**問** コミュニティバスの利用者が減少している。公共交通への依存度は今後どうなるか。

**答** 自家用車に頼れない高齢者は増加すると思わ

れるが、現時点では依存度の上昇は見られない。

**問** 中心市街地への施設建設を市民に提起するなら、将来の公共交通への依存度を調査し、市民に示すべきだ。

**答** 当面の間、車をやめて公共バスでというのは無理と考えている。既存の駐車場を有効的に使う施設間のミニシャトルも良いのではと考える。

## 親子が休める環境づくりを急げ

**問** 10月に学校を4連休とする家族と地域の時間づくり事業の成果は。

**答** 従業員10人以上の事業所の73%が平成23年度に協力、平成24年に協力したいと答えた事業所は85%となっている。

**問** 全国では、同事業により18.9%の家庭で、子どもだけが家にいたという。学校・企業はどう受け止めているか。

**答** 学校は年間計画の中で休日とするよう対応する。企業は他市町の従業員とのバランスで、休みを取りにくいとのことだ。



# 金谷地区の地域振興をどうするか

すぎむらようせい  
**杉村要星議員**  
(一問一答)

**問** 金谷地区の振興につなげるべきと思うが市長は今後、金谷地区の地域振興について、どのように取り組んでいくか。

**答** ここ7、8年の間に今、述べられた大型事業に牛尾山の開削も含めて国のお金が400億円以上、金谷地区を中心に投資されるのではないかと考えている。そこで、地域沿線の自治会長や建設業者と促進協議会を立ち上げ、できるだけ金谷地区を中心に、いろいろな仕事者が地元の業者におりるよう、国土交通省に対して働きかけを行って

つける。今後は金谷駅から富士山静岡空港へ15分おきにシャトルバスが出る事になると聞いている。そこで、空港・金谷駅・SL・諏訪原城跡・川根温泉ホテル・そしてメッセなどを結び、回遊という形で観光を振興していきたい。また、島田金谷インター周辺の土地利用を図り、工業系の誘致を増大を図っていきいたいと考えている。

**問** 富士山静岡空港が運用を始め、新東名高速道路が開通した金谷地区では今後、国道1号バイパスは大井川橋を中心にして4車線化

国道473号の島田金谷インター周辺の4車線化、倉沢・菊川間の整備着手、旧金中跡地にはメッセの建設計画といったように、大型のインフラ整備がめじる押しとなっている。行政としては、当然こうした事業を活用して



工夫した構想が期待される島田金谷インター周辺



こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん

# 市民によるまちなか交流促進



むらたちぶこ  
**村田千鶴子** 議員  
(一問一答)

市民のニーズに即したまちなか交流のソフト施策および島田大祭時に於いて弱者に配慮した交流・滞在対応策の観点から伺う。

**問** 市民活動の支援策に、



各委員の課題解決に向け熱心に情報交換(第三地区定例会)

**答** ぴーファイブ1階や空き店舗の有効活用は可能か  
**答** 総合計画の後期計画や中心市街地の活性化を検討する中で課題とする。  
**問** 高齢者の休憩所・赤ちゃん駅設置等の提供者へ、表示やフラッグ(旗)の活用が  
できないか。  
**答** わかりやすい表示や赤ちゃん駅フラッグを掲げていく方向で進める。  
**問** 大祭時に配布する案内図へ多目的トイレの場所を明示できないか。  
**答** 色彩を考え、わかりやすい案内図を作成する。  
**問** 車いす利用者の  
の棧敷席を確保できないか。

**答** 保存振興会や観光協会と協議していく。  
**問** 聴覚障がい者への配慮として、案内所等に耳マーク表示板が設置可能か。  
**答** 筆談可能な案内所を設置する。  
**民生児童委員の活動しやすい環境を**  
**問** 職務範囲が広がり、相談も複雑多様化する活動の負担軽減の観点から伺う。  
**問** 地域における協働体制として、地区社会福祉協議会の設置状況は。  
**答** 現在5カ所、来年早々金谷地区に設置される。必要性を議論し、ぜひ全域に立ち上げてほしい。  
**問** 高齢者安心ノートは緊急時の医療情報としては活用しにくいという現場の声を聞くがどうか。  
**答** 医療情報キット(医療情報を入れた専用容器)を活用したらという意見も聞くので検討する。  
**問** 震災等で委員の職務として、安否確認した場合の公務災害の補償は。  
**答** 安否確認は公務災害が適用されると考える。

**問** 中山間地域交流促進事業の根拠となる計画および実施期間と具体的な事業内容とは。  
**答** 島田市総合計画などに基づき実施する。平成25年度から3カ年を重点実施期間とし、パートナーシップ交流促進事業(フォトロゲイニング大会(フォトロゲイニング大会の開催)や、農家民宿等モデル事業などの実施を予定している。  
**問** 具体的にフォトロゲイニングというのはどのようなものなのか。

## フォトロゲイニングで地域のPR

おおしせつお  
**大石節雄** 議員  
(一問一答)



**答** 地域内に設定された点数のついたチエックポイントを、参加者が地図を持ち、時間内に回り、得点で順位を競うスポーツで、オリエンテーリングに競技性を持たせたような種目である。  
**問** 3カ年の計画の中で、どのように展開するのか。  
**答** 平成25年度は500人程度の規模を考えている。将来的には1000人規模の大会を毎年開催できるようにしたい。さらに全国大会、世界大会と、発展していけばと期待している。  
**中学の部活動に地域指導者の活用を**  
**問** 部活動に対する教職員  
の活動の現状はどうか。  
**答** 中学校教諭は、全員が部活動を担当している。夏場は平日でも午後4時30分の勤務終了後、6時30分まで指導に当たっている。教員は、大変大きな負担を抱えている。  
**問** 専門性を持った地域指導者の活用が必要では、  
**答** 教育委員会としては、各学校が地域指導者の活



川根・北中学合同チーム県大会出場を祝う横断幕

用を積極的に進めてほしいと思っている。  
**問** 大会等、2校以上合同による参加の可能性は。  
**答** 各種大会への合同チームの参加については現在認められている。



こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん

# 新病院建設の進め方に

## 課題はないか



さのよしはる  
佐野義晴 議員  
(一問一答)

**趣旨** 新病院の建設問題は、市民の間で大きな関心事項にあるにもかかわらず、定例会の都度、その答弁内容が変わり何を信じて良いか分からない。例えば、昨年の6月定例会では、ジャスコ跡地。それが9月定例会になると、市役所周辺部が付け加えられ、平成25年2月までに何れかの一方に絞り、その関連予算を議会に提出する。

**問** 今回の調査結果を見た感想を伺う。  
**答** 主観の入らない調査か疑問だ。  
**問** 市長が5月の市長選後も引き続き市長であったなら、市民が望む現在地建て替え案はないと理解して良いか伺う。  
**答** ジャスコ周辺と市役所周辺を出しているのが現在地建て替えはない。5月の市長選前まで

### 市民病院の建設に関するアンケート調査

整数に四捨五入しています。

	問1 病院が古くなったことについて...				問2 建て替えるとしたら...			
	使えるなら使った方が良い	建て替えた方が良い	どちらでも良い	合計	現在の敷地内	まちなかの方が良い	回答なしなど	合計
市内	771	215	106	1092	1024	36	32	1092
全域	70%	20%	10%	100%	94%	3%	3%	100%
地区別内訳								
大津小校区内	522	130	68	720	690	14	16	720
	73%	18%	9%	100%	96%	2%	2%	100%
大津小校区外	249	85	38	372	334	22	16	372
	67%	23%	10%	100%	90%	6%	4%	100%

**答** 明確にはできない。  
**意見** 議会や当局は、市民の思いを組み取ってこそ、住民福祉に寄与する機関としての機能を果たしたと言えると思う。

**問** いじめや体罰が問題となる中、一人ひとりに目が行き届き、分かる授業・楽しい学校がますます求められている。市独自の30人以下学級を進める必要があると考えるかどうか。  
**答** 平成25年度は、国や県の施策により、大多数の学級が35人以下学級となる。30人以下学級は、財源や教室の確保、教員採用事務等々多くの課題があり、時期尚早である。  
**問** 静岡方式35人学級は、

# 30人以下学級で行き届いた教育を

さくらいようこ  
桜井洋子 議員  
(一問一答)



一旦全額自己負担し、後で自己負担金を引いた分を払い戻してもらう償還払い方式だ。医療機関の窓口で、一度で支払いが済む現物給

25人以上いないと適用されない制度だ。実際は、35人以上の学級が生まれるかどうか。  
**答** 小学校で、2つのクラスが36人。中学校では37人、38人、40人のクラスが生まれる。そのため県に働き掛けて、25人以上という下限の縛りを解除していくことが急務と考えている。  
**子ども医療費の支払いは窓口でこそ**  
**問** 鳥田市は、小・中学生の医療費の支払いが、入院・通院とも、



子どもの医療費の償還払いの手続きをする市民

付にすべきだ。  
**答** 現物給付にすると、医療機関などへの多額の事務手数料が掛かる。市としては、その分をさまざまな子育て支援策に充てるため、償還払い方式にしている。  
**問** 県は、中学生まで現物給付方式をとり、市町に助成している。にもかかわらず、鳥田市の現物給付は、就学前までが対象で最も遅れたやり方だ。今後の対応策はどうか。  
**答** 平成25年度には、対象の拡大を予定している。

こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん

### 財政運営に

## 公共施設白書を活かそう

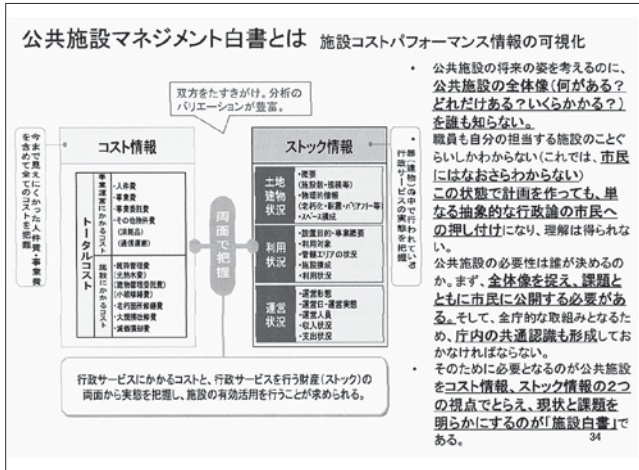


かわらざききよし  
**河原崎 聖 議員**  
(一問一答)

**問** 合併特例債や過疎債の裏付けになっている地方交付税制度は多額の債務を抱えており、地方が臨時財政対策債を発行して何とか持ちこたえていくのが実情だ。さらに、島田市が合併前の各市町の地方交付税の合計額を10年間保証される合併算定替えが平成27年度に終わり、28年度からは段階的に減らされて5年間でゼロになるが、これによって10億円前後の歳入減になるものとみられる。その一方で、歳出面では高齢化の進展などで福祉関連予算の急激な伸びがみられ、国民健康保険や市民病院への繰出しも増加が予想される。こうした状況では、市民から必要とされる最低限のサービスを維持するために、重要な財政運営が求められると考える。そうした中、公共施設白書をもとに施設の在り方を見直すという動きが全国に広がっている。この白書は、運営費

用などのコスト情報や土地建物状況や利用状況といったストック状況に基づいて公共施設の全体像を把握しようとするもので、主に八コモノに関する。厳しい財政運営

について、行政や議会もちろんのこと、広く市民に理解を求めるためにこうした取り組みは島田市においても必要と考えるが、どうか。  
**答** 合併による地方交付税の加算措置については平成33年度にゼロとなる見込みで、予算編成の際には職員に対してそうした説明は行っている。公共施設白書については、総合計画後期基本計画を作成する中で検討していきたい。



**問** 民主党政権時に医療費が改定され、自治体病院の6割が赤字に転換し、市民病院も5億円近い赤字になった。一転、24年度は、経営が悪化した。その要因は何か。  
**答** 医師の退職による患者数の減少が主な原因である。  
**問** 24年度に退職した医師は何人か。  
**答** 年度途中が9人、年度末の退職予定者は14人の計23人である。  
**問** 医師1人、年間1億

## なぜ、病院経営が悪化したか。

やぎのぶお  
**八木伸雄 議員**  
(一問一答)



円の医業収益がある。年度途中での退職は収益の減少になるだけでなく、市民の生命を守る上でも問題だ。対応はどうか。  
**答** 非常勤医師に外来を中心に診ていただいているが、患者への影響は避けられない。  
**意見** 大学の医局とのパイプを太くしてほしい。さらに病院内部での職員の意思の疎通を図り、人間関係が原因での退職の防止をお願いしたい。  
**お茶の風評被害の賠償状況は**  
**問** 東京電力に対するお茶の賠償請求が行われた。

しかし、事務手続きが煩雑なため、請求を見送った農家や小売店がいる。救済策を考えているか。  
**答** 市が直接支援をすることは考えていない。農協等を通して請求することを進めている。  
**問** 問題は、請求しようとしても手続きが困難でできないということだ。これまでのデータを基に、簡易的な請求を可能にするよう東京電力に申し入れすべきだ。  
**答** 県を通じ働きかけていきたい。  
\*その他、フッ素塗布導入による虫歯予防に関する質問をした。



医師の確保が求められた市民病院



# 市長の12年間の

## 市政運営の評価は!!



福田ただたお  
福田正男 議員  
(一問一答)

**問** これまでの12年間で公共施設の建設いわゆるハコモノは、何件で総額は幾らか。

**答** 主なものは、島田一中、田代環境プラザ等で、1億円以上の建物は24件あり、総額は約274億円である。

**問** 廃プラ裁判の最高裁判決に基づいて、市民に市長自ら説明する責任があると思うがいかがか。

**答** ある程度時期を待つて検討したい。

**問** 島田市金谷生きがいセンターの指定管理者選定に

ついては、日本シアタサービスが、斬新なアイデアと経費により5%カットするという提案で満場一致で推薦したと聞いている。なぜ、まちづくり島田に決まったのか。

**答** まちづくり島田の方

が評価点が高かったため決定した。

**問** 最終処分場の入り口閉鎖問題は、市民と訴訟を起こしてまでも震災ガレキを受け入れる必要があったのか、また地権者に十分な説明をしてきたのか疑問である。その点はどうか。

**答** 通常のとおり使用できるよう仮処分の申請をしている。

**問** ジャスコ跡地の2億円余りの固定資産税を不納欠損処分した訳には、市長とデベロッパとの間に何らかの約束があったのではないか。

**答** 係争中で答弁できない。

**問** インフラの老朽化対策は大丈夫!!

**答** インフラの老朽化対策は、防災や減災につながる。公共施設とインフラの更新投資額を早く調査して財政計画を作り、市民に提示すべきと思うがいかがか。

**答** 総合計画の中で、検討をしていきたい。

**問** がんばる認定農業者支援事業の成果は。

**答** 申請者は30人、補助金交付決定額は1902万2千円であり、予算額にはほぼ達する成果である。

**問** 事業の3割を対象、80万円を限度の支援は5年間継続事業とのことだが、今後の申請状況は。

**答** 平成28年度まで一括エントリーを行った。それ以降の申請は、提出日順に随時事業エントリーをしている。なお、現在の全体(5年間)のエントリー件数は109件で7552万1千円である。

**問** 今後の新規申請の取り扱いはどうか。

**答** 各年度の事業要望調査を踏まえ、平成25年度の申請を受け付ける。

**問** 防霜ファン更新事業の工事進捗と安全面での市の関与はどうか。

**答** 非常に大規模な工事であることから、職員を配置し、市の事業として施工管理を十二分に図り、業者指導も含め、適切な工事に努める。

**問** ふじのくに美農里プロジェクト「菊神里山の会」において、荒れた柵田の草刈り、地域以外の参加者とジャガイモや花を植えるなど作業をした。農地集積、条件不利地域の耕作放棄地の発生抑制に

農振除外も含め、農業委員会としての取り組みはどうか。

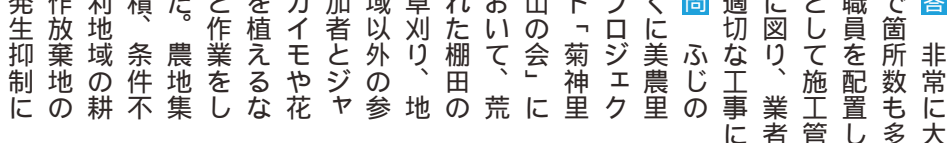
**答** 農業委員会の活動の中で耕作放棄地の発生を解消していく努力を日々しているが、農振除外はかなり難しい。

**要望** 条件不利な耕作放棄地農振除外の難しさから、島田金谷インター周辺の農振除外は難しいと考えるが、市として努力していただき、インター周辺の土地利用に期待する。

「菊神里山の会プロジェクト」での草刈りの様子

このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

建設費92億円の田代環境プラザ



建設費92億円の田代環境プラザ

## 茶産業支援と農地政策

なかだ ゆうこ 議員  
仲田裕子 議員  
(一問一答)



「菊神里山の会プロジェクト」での草刈りの様子

# 議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、5人の議員が18項目について質疑しました。以下主なものを掲載します。

## 【H24一般会計補正予算】 市民病院の敷地内の 地質調査について

**問** この時期に地質調査を行うとする理由は何か。また、この予算では地質調査と合わせ、どのような事業を行うのか。

**答** 新病院を敷地内で建設できるかどうかの可能性について検討するため、地質調査を行う。また、事業内容については、ボーリング調査、地質調査、軟弱地盤対策のための工法の選定、工事費の概算の算定を行う。

**問** 「おび・りあ」へのコープの出店の内容はどうか。

**答** 今回の補助金の内

容と、家賃補助は実施するのか。また、コープに割り当てられる駐車場は何台分なのか。

**答** 今回の補助金は、店舗改装費用の一部であり、家賃補助は行わない方向である。駐車場については、「おび・りあ」専用駐車場のうち、1階と2階部分で合計30台分を買い物客用として使えるようにする。

## 【H24病院事業会計 補正予算】 市民病院の収支の 状況はどうか。

**問** 外来や入院の患者数が減少しているが、いかなる理由か。

**答** 主に呼吸器科などで医師が退職したこと

によるものである。  
**問** 退職による医師不足の実態はどうか。

**答** 呼吸器科の医師が6人から3人に減り、血液内科や眼科でも医師が退職した。その結果、医師数は96人から86人となり、経営状況が悪化した。

## 【H25一般会計予算】 太陽エネルギー利 用促進事業

**問** 事業内容と事業費の増加の理由は。

**答** 住宅に太陽光発電システムを設置した方への補助金を交付する事業であり、1キロワット当たり1万5千円、4キロワット6万円で、市内業者の場合は、2万円を加算する。本年度の実績

を踏まえて2千万円に増額した。

**問** 施工業者の違いで補助金の額を変えるのはなぜか。

**答** 市内業者の育成のためである。

## 獣肉加工施設建設 事業

**問** 獣肉加工施設の概要は。

**答** 木造平屋建て、約60平方メートルの加工施設を伊久美の「やまゆり」の隣接地に建設する。

**問** 処理能力、加工施設へ持ち込まれる量はどのくらいを見込んでいるか。

**答** 1日、イノシシ3頭程度を処理し、年間40頭程度見込んでいる。  
**問** この事業で、鳥獣

対策費は抑制されるか。

**答** 農作物被害の軽減と鳥獣対策事業費の抑制につながると期待している。

## 放課後児童クラブ の指導員の待遇などは どうなるか。

**問** 放課後児童クラブ運営事業において、予算が増えている理由は何か。

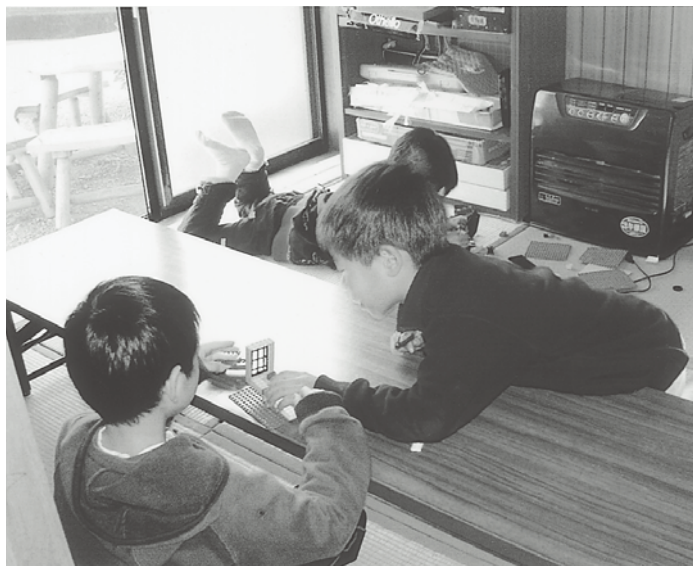
**答** 指導員の増員と給与と単価のアップを行う

計画であるため増額する。その内容は、主任指導員、補助指導員ともに時間単価で、20円のアップを考えている。

## 学校給食共同調理 場の建設内容はどうか。

**問** 給食施設の概要と建設のスケジュールはどうなっているか。

**答** 2階建て、床面積は2886平方メートル、ドライシステムの調理場



楽しい放課後児童クラブ



で、1日6300食の調理ができる。洗浄室、アレルギー食調理室、見学用通路や研修室を整備したい。平成25年7月より着工し、平成26年度の2学期より給食を提供する予定である。

**問** 西部、北部、東部、金谷の各調理場を一つに統合するが、新調理場での職員配置はどうなるのか。また、アレルギー対応食はどのように調理されるのか。

**答** 職員体制は40人であり、栄養士が2人、調理員は、正規職員と臨時職員となる。アレルギー対応食は60〜70食を調理できる。児童・生徒や保護者と十分に話し合いを行って調理をしていきたい。

**伊太田代地区での環境調査の内容はどうか。**

**問** 環境調査の項目はどんなになっているか。調査するエリアはどの程

度の広さとなるか。また、計画がある民間のメガソーラー事業とこの環境対策事業との関係はどうか。

**答** 調査項目はクマタカ、オオタカ、サシバ、ハチクマなどの猛禽類の分布調査である。また、移植した植物の生育調査も行う。調査は千葉方面や相賀方面まで実施する。民間のメガソーラー事業は平成26年1月からスタートするが、猛禽類への影響を調査することもあり予算を増額した。

**産学官連携プロジェクト(大学の誘致)推進事業の内容はどうか。**

**問** 大学誘致活動のこれまでの成果をどうとらえているか。また、今後はどのようなことを行っていく計画なのか。

**答** 成果としては、鳥田市の考え方を伝えたことにより、徐々に信頼関係を築けたことで

ある。今後も誘致実現に向けて、大学と必要な話し合いを進めていく。

**問** 大学名を公表していないが、いつ、どのような状況になったとき公表すると考えているか。

**答** 現時点では大学名の公表時期、方法は決めていない。今後、大学側との話し合いを行う中で相手の意向を尊重し対応する。

**フツ素応用等歯科保健普及事業**

**問** 現在の実施状況と事業の内容は。

**答** 学校のフツ素洗口は、北部の伊太小・相賀小・神座小・伊久美小および川根小、川根中で実施している。フツ素塗布は、フツ素洗口未実施校全てにおいて、小学校1・2年生の希望者を対象に実施していく。

**問** 教職員の負担は増えないか。

**答** 健康づくり課職員が行う予定で、負担は増えない。

**学校支援地域本部事業**

**問** 学校支援地域本部の構成と学校教育の支援体制とは。

**答** 学校と地域をつなぐコーディネーター1人が中心となり、学校の要望に応じて地域住

民などの参画や協力を得ながら、学習支援、環境整備、学校の行事、部活動の補助などの支援活動を行う。

**【H25国民健康保険事業特別会計予算】特定健診事業**

**問** 平成24年度の受診率の見込みと平成25年度の受診率の目標値と達成見込みは。

**答** 受診率は、平成25年2月末現在で32.3%。平成25年度の目標値は40%で設定している。平成25年度の受診率の目標値は、医療機関との協力体制ができるので、目標達成はほぼ見込めるのではないかと考えている。

**問** 受診率向上のため新たな施策は考えているか。

**答** 受診率向上の一番の課題は、診療を受けている方が特定健診を受けないことなので、医療機関受診者の健診について、診療の中に1回分を特定健診とすることで対応するという協議が整ってきている。

**問** 検査項目にクレアチニン、ヘモグロビンA1cなどを追加したことで、効果は表れているか。

**答** まさしく受診率の向上につながっている。



特定健診を勧めるのぼり

1 クレアチニン...腎臓の機能(はたらき)をみる指標

2 ヘモグロビンA1c...最近2〜3カ月間の血糖状況を反映する指標